## [井原小] 学校(5) 年 R4ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れた単元報告シート 作成者名【田中 敬子】

●●●●=必ず記入 ○○○○=計画に応じて該当するところを記入

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《身近な環境保全から考える、地域活性化への取組(環境)》
- **2 単元名** 『住みやすい井原町をめざして』 (全50時間=実施時期:5月~12月)
- 3 **単元のねらい** \*本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

身近な環境保全の取組に触れることを通して、その工夫や努力について理解し、自分たちにもできる取組にはどのようなものがるかを考えると共に、環境や地域を大切にする心を育てる ことができるようにする。

### 4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		井原市の人口減少から、今後の井原町 の未来について考える。井原町をもっ と住みやすい町=きれいな町にするに はどうすればよいかという課題をもつ。	環境に配慮している地元の企業を訪れ たり、自らゴミ拾いに行くなどして、 地域の様子を知る。	集めた情報を、どのような形で広めて いくかについて話し合ったり、表現方 法について検討したりする。	新町マルシェに出店する。また、他学 年、他校と協力して、ごみ拾いを継続 する。
引き出したい	いばら愛 (郷土愛と当事者性)	井原町活性化について、様々な視点から考えることができる。			井原町について知ったこと、感じたことについて、自分たちの表現方法で広げていくことができる。
	やり抜く力 (忍耐と向上心)		自分たちにもできる企画 = ゴミ拾いの 企画を自分たちでたてることができる。	表現方法や内容について、自分たちで 考え、校内でプレゼンテーションする ことができる。	ゴミ拾いは、継続して行い、住みやす い町 = きれいな町という自分たちの定 義を貫徹することができる。
姿	まき込む力 (発信と協働)				
仕掛け・工夫	もの	井原町の課題と共に、井原市の特産物 であるデニムにも注目できるようにす る。		小田川沿いにある、舞鶴公園で大規模 なマルシェが10月に開かれることを 知らせることで、単元のゴールに向か う足がかりとする	
	ひと		環境に配慮している地元の企業を訪問 することで、井原町の特産物(デニ ム)に出会う。	校内でプレゼンテーションを行い、ア ドバイスをもらうことで、自分たちが 取組もうとしていることの精査や、ブ ラッシュアップを行う。	訪れた人に、展示や井原についてのア ンケートをとることで、今後の活動に いかしていけるようにする。
	しごと (こと)				
クナナ		活動する中で、「自分たちの取組」という意識を高くもつことができていたため、新町マルシェが行われる前日には、校内放送を使って来場の呼びかけを行い、 マルシェ当日(日曜日)には、自主的に手伝いに参加した児童も多かった。また、井原をアピールするために、呼び込みをしたり、来場者への説明係を積極的に 行う姿を見ることができた。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

井原小学校2年生 おのはなこ商店 クロキ株式会社 井原市立高等学校

#### 井原小学校・5年 単元名『住みやすい井原町をめざして』の流れ(探究過程)と活動の実際 担当【多賀 実可】

◆**単元のねらい**身近な環境保全の取組に触れることを通して、その工夫や努力について理解し、自分たちにもできる取組にはどのようなものがるかを考 えると共に、環境や地域を大切にする心を育てることができるようにする。



# 課題設定

井原町の人口減少問題から、人口を増やす ためにはどうすればよいかについて考える。 ○住みやすい町=きれいな町=環境がよい =ごみが少ない

#### 整理・分析

自分たちにできる取組について考える。

- ○ごみ拾いをする。
- ○花を植える。
- ○川をきれいにする。
  - →川のごみ拾いをしている団体。
  - →環境に配慮している地元の企業の存在
- ○新町マルシェできれいな町をPR



情報収集

ごみ拾いに行く。

○エリアを分けて、数回ごみ拾いに行く。 ○川沿いはごみが少ないことに気づく。



#### 情報収集

インタビュー内容をまとめる。

○クロキ株式会社を見学する。

ごみ拾いに行く。

○環境に配慮している様子を学ぶだけでな く、地元の特産品である「デニム」の存 在の大きさにも気付く。

まとめ・表現



#### 整理・分析

「新町マルシェ」での展示内容を考える。

- ○「デニム」を活用した展示を行う。
- ○きれいな町をPRするための表現方法の工 夫を行う。
- ○校長先生、教頭先生にプレゼンテーショ ンを行い、表現方法のブラッシュアップ をはかる。





#### まとめ・表現

- ○想いを詰め込んだ展示を行う。
- ○家族や友だちを誘って自主的に参加する。
- ○来場者へアンケートをとり、今後の活動

「新町マルシェ」に参加・出店する。

- ○呼び込みや、説明を積極的に行う。
- へいかす。

### **◆成果(○)・課題(△)・来年度に向けて(☆)**

- ○自分たちが住んでいる町に、より親しみと愛着をもつことができた。また、どうすれば商店街のよさを伝えられるかについて、地元で働く方々の話を取り入れながら、自分たちで考え、表現 することができていた。また、お客さんからフィードバックをいただくことで、自分たちがしてきたことの意義も感じることができていた。
- △☆活動自体は、児童主体で動くことができていたが、教師が話し合いの柱を提案することも多かった。課題に向かって、より自由で豊かな学びができるように、場づくりの工夫や、話し合い 活動の充実、地域との交流にも力を入れていきたい。